

整形外科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】 遠位橈尺関節変形性関節症に伴う伸筋腱断裂 -CTによる検討-

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 寶金 清博

【研究責任者名・所属】 河村 太介 （整形外科・助教）

【研究の目的】

遠位橈尺関節変形性関節症は、同関節の軟骨が変性して手関節・前腕の痛みや可動域制限をきたす疾患です。この疾患に罹患すると手関節の背側を通っている指の腱（伸筋腱）に摩擦が生じたり、炎症が波及したりして、伸筋腱が切れてしまうことがあります。当科ではこのような伸筋腱が切れてしまった患者さんに、伸筋腱の再建術と手関節形成術を行っています。この手術を行うことで再度指が伸びるようになり、除痛効果も期待できます。しかし、この疾患に罹患する患者さんは少なく、遠位橈尺関節変形性関節症と伸筋腱断裂の関係はまだ明らかではありません。本研究の目的は遠位橈尺関節変形性関節症に伴う伸筋腱断裂に対する手術治療成績を報告すること、および、術前 CT 画像を用いてその形態的特徴を検討することです。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

当科で平成 22 年 6 月から平成 28 年 4 月の期間に、遠位橈尺関節変形性関節症による伸筋腱断裂に対して手術を行った方。

○利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見（握力、DASH スコア、関節可動域など）、合併症、画像診断結果（CT 検査）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院整形外科 担当医師 河村 太介

電話 011-706-5937 FAX 011-706-6054